

令和元年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立袋井特別支援学校 磐田見付分校 P T A
学 校 名	静岡県立袋井特別支援学校 磐田見付分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	48人

1. 使用状況

寄贈物品名	ミシン8台
使用学年及び人数	高等部 1、2、3年生 16人
使用頻度	2回/週
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の授業で行われている、自主生産作業縫製班の作業学習において、週に2回程度使用している。 ・縫製班では、寄贈していただいたミシンを使用して、バザーでの製品販売を目的に、トートリュック、はしケース、ティッシュボックスケース、タペストリーなどの製品作りを進めている。今後は、1月販売機の製品の製作を進めていく予定である。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンの台数が増えたことで、作業の待ち時間を解消することができた。 ・コンピュータミシンを使用することで、縫い目がきれいにそろいやすくなり、一定の品質で製品を仕上げることができるようになった。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータミシンを寄贈していただいたが、活用できていない機能があるため、今後更にコンピュータミシンを活用しての製品作りに取り組んでいきたい。具体的には、製品にアルファベット等で刺繍をしてタグ作りを行ったり、柄を縫う機能を利用してワンポイントの柄を縫い込んだりするなど、製品開発に活用していきたい。
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> ・寄贈いただいたミシンの価値を再度生徒に伝え、機能を十分に活かしての活用をしていきたい。

2. 活用の様子

添付写真 ...ミシンの台数が増えたことで、作業の待ち時間なく効率よく作業を進めることができるようになりました。



添付写真 ...トートリュックを製作しています。針の進みが滑らかで、スムーズに製作を進めることができます。他にも箸ケースやティッシュカバーの製作にも使用しています。

